

感染症予防対策について

大学での集団生活や、在学中に学外実習に出かける機会に注意しなければいけないことの一つに感染症（細菌やウイルスで起こる病気）があります。集団生活や実習で接する人たちからうつされたり、あるいは逆に皆さんがうつしたりしないように気をつけなければいけません。注意する主な病気を下に示します。

感染症	感染経路	危険性など
<p>結核(細菌)：昭和 20 年代まで結核は日本人の死因の第 1 位であった。正岡子規、樋口一葉など多くの著名人も結核で命を失っている。結核は過去の病気だとのイメージがあるが、いまなお年間 3 万人近くの新たな感染者が出ている最大の感染症である。結核菌に一度かかると生涯、菌を体から排除できず、体力が落ちてくると病気が起こることがある。</p>	<p>飛沫核感染：咳やくしゃみの飛沫だけではなく、空中で飛沫が乾燥しホコリのように漂っている飛沫核でも感染する（空気感染ともいう）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者との接触 ・ 集団感染（保育所、学校、病院などで、治療開始前の患者との接触）
<p>B型肝炎(ウイルス)：母子感染した場合はウイルスを持ち続けるキャリアになることが多く、キャリアから慢性肝炎→肝硬変→肝がんへ進む場合がある。小児期以降に感染した場合は症状が出ない不顕性感染、急性肝炎を起こすことがあるが、慢性化することはまれ。ただし、劇症肝炎となった場合は命に関わる。</p>	<p>母子感染：B 型肝炎母子感染予防対策は 1986 年以降出生の者から行われている。</p> <p>唾液を含む血液・体液との接触で感染する危険性がある（性感染症も含む）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 唾液を含む体液との接触（特に 1985 年以前出生者との接触） ・ 自分がキャリアである場合、他人にうつす可能性
<p>C型肝炎(ウイルス)：小児期以降に感染しても、キャリアになることが多く、キャリアから慢性肝炎→肝硬変→肝がんへ進む場合がある。B型肝炎に比べ、劇症肝炎となる可能性は低いといわれている。</p>	<p>血液・体液との接触（B型肝炎ウイルスよりも感染性は格段に低い）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液・体液との接触
<p>小児感染症＞麻疹(ウイルス)：<u>はしか</u>。わが国の一般的な小児の感染症ではもっとも重症となるものの一つ。成人の麻疹も小児と同様、発熱、咳、鼻汁、結膜充血、口腔粘膜の白い発疹（コプリック斑）、色素沈着を残す発疹が特徴。肺炎、脳炎など重症な合併症を起こすことがある。</p>	<p>飛沫感染、飛沫核感染、接触感染、器物を介する感染。きわめて感染性が強い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児の集団との接触 ・ 小児科外来等での患児との接触 ・ 幼児期の予防接種の効果が皆さんの年齢まで持続するとは限りません。幼児期にワクチンを打った人でも、検査してみれば、皆さんの年齢層で何割かの人には抵抗力がなく、その中から、小児の感染症にかかる人が出てきます。試験時期などと重なると進級が困難になるなどのおそれがあります。 ・ 特に麻疹は感染力が強くまた重症化するので要注意です
<p>小児感染症＞風疹(ウイルス)：<u>三日はしか</u>。成人では関節炎を起こしやすい。一般に成人は小児期にかかるより重症感が強い。妊娠早期に感染すると先天性風疹症候群の子どもが生まれることがある。</p>	<p>飛沫感染、接触感染、器物を介する感染</p>	
<p>小児感染症＞水痘(ウイルス)：<u>みずぼうそう</u>。成人では肺炎になりやすいなど重症になることがある。妊娠早期に感染すると先天性水痘症候群の子どもが生まれることがある。</p>	<p>飛沫感染、飛沫核感染、接触感染、器物を介する感染（水疱中にウイルスが存在する。全ての水疱が痂皮化するまで感染性がある）</p>	
<p>小児感染症＞流行性耳下腺炎(ウイルス)：<u>おたふくかぜ</u>。成人では性腺炎、乳腺炎、睪炎を合併することがある。小児を含め髄膜炎を合併しやすい。</p>	<p>飛沫感染、器物を介する感染</p>	

これらの感染症に伴う危険性を予防するため、皆さんには下に示す検査と対策を行います。

- ★：入学前に麻疹・風疹接種を受けておいてください。その際に大学のホームページの入試案内サイトの説明を読んで提出書類の準備をしておいてください。
- ★：入学時のガイダンスの際に回収します。

感染症		検査	対策	対象
結核		ツベルクリン反応検査	データの記録 (実際に感染した時は反応が大きくなることが予想されるため、現在の反応を基礎値として活用)	1年生・編入生全員
B型肝炎		HBs抗原	陽性→医療機関紹介	1年生・編入生全員
		HBs抗体	陰性→ワクチンを勧めます	
C型肝炎		HCV抗体	陽性→医療機関紹介	看護学科1年生・編入生
小児感染症	麻疹	麻疹抗体 (EIA)	陰性→ワクチンを勧めます	1年生・編入生全員
	風疹	風疹抗体 (HI)		
	水痘	水痘抗体 (EIA)		
	流行性耳下腺炎	流行性耳下腺炎抗体 (HI)		

結核菌に対する免疫の検査としては、ツベルクリン反応検査よりもオンティフェロン検査のほうが正確ですが、予算、その他の事情から、しばらくはツベルクリン反応検査を実施します。

B型肝炎、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎は、教育実習に参加する条件、あるいは医療機関や福祉施設などを実習先とする条件として、抗体検査が求められていますので、罹患が明らかでも全員の検査を行います。

HBs抗原陽性とはウイルスに感染している可能性、HBs抗体陰性とはウイルスに未感染で免疫もないことを示します。HCV抗体陽性とはウイルスに感染している可能性を示します。

B型肝炎、小児感染症のワクチンはアレルギーの有無を確認して危険性が少ない人に勧めます。



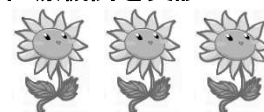
このような検査と対策をきちんと行うために、学生の皆さんは別紙の調査票に答えて、期限までに事務局学生課に提出してください。

★ 検査の結果、医療機関への受診が必要な人には個別に詳しく説明し、適切な医療機関を紹介します。

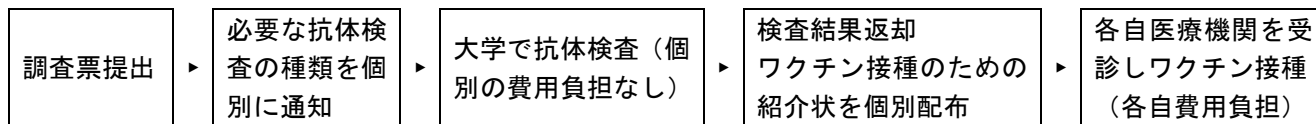
★ 調査に答えるに当たり、母子健康手帳や保護者の話を聞いて、正確に記入するようにしてください。

新入生・編入生はそれぞれのガイダンスの日に回収します。

★ ワクチンが必要だと判断された人には紹介状を出しますので、なるべく早く医療機関を受診してください。



検査とワクチン接種の流れ



不明な点、心配なことなどあればご遠慮なく

大見(栄養学科)、看護師(保健福祉センター)までご相談ください
電話：01654-2-4199(内線：大見 1312、看護師 2109)

感染症予防に関する調査票

別添のマークシートに鉛筆またはシャープペンシルで記入してください（ボールペンは不可）。マークシートに印をつける際には、下に示すように十分な幅しっかりと塗りつぶしてください。また、定規などを使って質問番号と対応する回答が同一列であることを確認しながら慎重に記入してください。

例：

3	→	
---	---	--

 カッコの幅に合わせてしっかりと塗りつぶしてください。

間違えた時には×や＝で消すのではなく、ていねいに消しゴムで消してください。

名前欄に漢字で氏名を記入してください		
学籍番号（マークシートの年・組・番号の欄を使って、左から順に6桁の学籍番号に従って、該当する番号に印を付けてください。年・組・番号は無視してください。）		
※ 入学式で渡す学生証を見て記入して下さい。		
質問：該当する番号に印を付けてください		
1	あなたの性別は。	①男性 ②女性
2	最近1か月以内にワクチンを受けたことがありますか。	①ない ②ある
3	最近1か月以内に感染症にかかったことがありますか。	①ない ②ある
4	生まれてから今までに「先天性異常、心臓病、腎臓病、肝臓病、脳神経病、免疫不全症」など特別な病気にかかり、医師の診断治療を受けたことがありますか。	①ない ②ある
5	質問4の病気は現在（②あると答えた人のみ）	①治っている ②経過観察中 ③治療中
6	現在皮膚の病気（例えば湿疹）にかかっていますか。	①かかっていない ②かかっている
7	副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）を使用中ですか。	①使っていない ②使っている
8	質問7のステロイド剤の剤型は何ですか。（②使っていると答えた人のみ） [当てはまるもの全てにマーク]	①飲み薬 ②塗り薬 ③その他
9	今までに、けいれん（ひきつけ）を起こしたことがありますか。	①ない ②ある
10	質問9のけいれんはどんな時に起こりましたか。（②あると答えた人のみ）	①熱がある時 ②熱がない時 ③いずれの場合も ④不明
11	今までにツベルクリン反応検査（ツ反）を受けたことがありますか。	①ない ②ある
12	ツ反で非常に強い反応（水疱、壊死）になったことがありますか。	①ない ②ある
13	今までにBCG接種を受けたことがありますか。	①ない ②ある
14	今までに結核の患者さんと会ったり接触したことがありますか。	①ない ②ある
15	質問14の患者さんは現在どんな状況ですか。（②あると答えた人のみ）	①治っている ②治療中 ③不明
16	今までに結核と診断されたり、発病予防のため服薬（予防内服）をしたことがありますか。	①ない ②ある
17	家族、親戚、知人など身近で結核になった人はいますか。	①ない ②ある
18	現在、2週間以上続く「せき、たん、熱、胸の痛み」の症状がありますか。	①ない ②ある
19	今までに1か月以上海外に滞在したり旅行したことがありますか。	①ない ②ある
20	今までに肝炎ということで、医師の診断治療を受けたことがありますか。	①ない ②ある
21	質問20の肝炎の種類は何ですか。（②あると答えた人のみ） [当てはまるもの全てにマーク]	①A型肝炎 ②B型肝炎 ③C型肝炎 ④その他
22	今までに肝炎のキャリアということで、医師の診断を受けたことがありますか。	①ない ②ある
23	質問22の肝炎の種類は何ですか。（②あると答えた人のみ） [当てはまるもの全てにマーク]	①B型肝炎 ②C型肝炎 ③その他
24	あなたは新生児・乳児期に「B型肝炎母子感染予防対策」を受けましたか。	①受けない ②受けた
25	質問24の結果現在どんな状態ですか。（②あると答えた人のみ） [キャリアとはウイルスを体内に持ち続けている状態です。]	①キャリアではない ②キャリア ③不明

★ 次ページに続きます

26	あなたはこれまでに麻疹（はしか）にかかりましたか。	①かかっていない ②かかった ③不明
27	あなたはこれまでに風疹（三日はしか）にかかりましたか。	①かかっていない ②かかった ③不明
28	あなたはこれまでに水痘（みずぼうそう）にかかりましたか。	①かかっていない ②かかった ③不明
29	あなたはこれまでに流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）にかかりましたか。	①かかっていない ②かかった ③不明
30	あなたは乳幼児期（小学校前）に麻疹（はしか）のワクチンを受けましたか。	①受けた ②受けていない ③不明
31	あなたは小学生以上で（2回目のことが多い）麻疹（はしか）のワクチンを受けましたか。	①小学生の時受けた ②中学生の時受けた ③高校以降で受けた ④受けていない ⑤不明
32	あなたはこれまでに風疹（三日はしか）のワクチンを受けましたか。	①受けた ②受けていない ③不明
33	あなたはこれまでに水痘（みずぼうそう）のワクチンを受けましたか。	①受けた ②受けていない ③不明
34	あなたはこれまでに流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）のワクチンを受けましたか。	①受けた ②受けていない ③不明

※：MMRワクチンを受けた人は麻疹、風疹、流行性耳下腺炎のワクチンを受けたこととなります。
また、MRワクチンを受けた人は麻疹、風疹のワクチンを受けたこととなります。

あなたがもし麻疹に対する抵抗力（免疫）を持っていると考えられる理由があったらマークシートの裏面に具体的に記入してください。

例：昨年5月に病院で抗体検査を受けたら陽性であった。
弟が昨年麻疹にかかった時一緒にいたが発病しなかった。など

35	アレルギーはありますか。	①ない ②ある
質問 35 のアレルギーは何に対してですか。（②あると答えた人のみ）		
36	薬物に対して	①ない ②ある
37	食物に対して	①ない ②ある
38	その他のものに対して	①ない ②ある

39	今までワクチンを打って副作用が出たことがありますか。	①ない ②ある
質問 39 の副作用は何ですか。（②あると答えた人のみ）		
40	けいれん	①ない ②ある
41	じんましん	①ない ②ある
42	高熱	①ない ②ある
43	その他	①ない ②ある

44	今まで採血などの際に、気分が悪くなったり、意識を失ったり、倒れたりしたことがありますか。	①ない／ほとんどない ②たまにある ③よくある
----	--	-------------------------------

検査やワクチンを受ける上で、治療中の病気など、特別な配慮が必要なこと、あるいは検査やワクチンを受けることができない特別な事情があればマークシートの裏面に具体的に書いて下さい。

★ 母子健康手帳や保護者の話から、正確であることを再確認してください。 ★

★ ★ ★ 検査にかかる費用について ★ ★ ★

検査に関しては自己負担はありません。

検査日は後ほど掲示などでお知らせします。



ワクチンマン 対 ハシカマン

★ ★ ★ 検査を受けることができなかった場合 ★ ★ ★

日程を決めて一斉に検査を行いますが、検査当日に欠席するなど検査を受けることができなかった人は保健福祉センターまでお知らせください。

ツベルクリン反応検査では注射の後、48時間後に判定するので2日後の受診が必要です。

★ ★ ★ 予防接種（ワクチン接種）にかかる費用について ★ ★ ★

予防接種は検査結果と調査票から判断して、個別にお勧めするものをお知らせします。医療機関への紹介状をお渡ししますので、各自、受診して下さい。費用は医療機関によって異なります。

医療機関での準備もありますので、必ず、受診前に電話などで確認して受けて下さい。

ワクチン	受ける回数	一般的な料金
B型肝炎	3回	1種類1回当たり5000～8000円くらい
麻疹	1回	
風疹	1回	
水痘	1回	
流行性耳下腺炎	1回	

このほかに受診料（初診料または再診料）がかかります。

予防接種を受ける順は、麻疹ワクチンを最優先にしてください。

実習先から接種の確認を求められる場合があります。計画的になるべく早く、全ての予防接種を受け終わるようにしてください。また、接種した場合は、必ず確認書を保健福祉センターまで提出してください。

